

平成21年度事業決算

費目/事業	決算(千円)	備考	
事業費総計	431,177		
水産海洋研究センター事業費	405,715		
職員費	318,653		
運営費	20,091		
水産研究施設整備費	926	県単	
水産研究施設整備費	9,000	補助	
図南丸整備点検事業	10,697	県単	
水産海洋研究費			
本所	(37,239)		
マチ類の資源評価・資源回復調査	817	県単	研究費
生物情報収集調査	3,161	受託	研究費
日本周辺高度回遊性魚類資源対策調査	3,000	受託	研究費
モズク類養殖技術改良試験	1,689	県単	研究費
ヒトエグサ中性胞子を用いた養殖試験	64	県単	研究費
クビレオゴノリ養殖技術開発	300	県単	研究費
ヒメジャコのケージ式養殖技術実用化試験	202	県単	研究費
ナマコ類の養殖基礎試験	360	県単	研究費
養殖魚介類類の魚病対策試験	1,431	県単	研究費
新養殖管理技術開発試験	1,690	県単	研究費
特定海域放射能測定調査	2,115	受託	研究費
沖合海域海洋観測	10,324	受託	研究費
海洋動態解析事業	321	補助	研究費
漁場探索支援事業	1,053	県単	研究費
マグロ類回遊行動生態調査	4,000	受託	研究費
ソデイカ漁業の漁具漁法改良試験	3,056	県単	研究費
ソデイカのすり身に関する研究	360	県単	研究費
漁獲情報収集管理事業	214	県単	研究費
新漁業管理制度推進情報提供事業	1,662	補助	研究費
海底地殻変動システムを用いた海域観測	1,420	受託	研究費
石垣支所	(9,109)		
八重山海域資源管理型漁業推進調査	1,289	県単	研究費
シロクラベラの分布生態および資源加入過程の研究	2,000	受託	研究費
ハタ類の新規養殖適種選定試験	2,651	県単	研究費
シラナミの種苗量産技術開発試験	1,069	県単	研究費
大型ハタ類の性転換・性成熟研究	2,100	受託	研究費
行政対応等事業費			
本所	(15,593)		
資源管理型漁業推進調査	807	交付金	水産課
放流技術開発事業(シラヒゲウニ)	1,828	県単	水産課
安全・安心な養殖生産体制整備事業	2,990	交付金	水産課
漁業管理対策事業	640	交付金	水産課
養殖水産動物保健対策推進事業	4,228	交付金	水産課
マリンバイオ産業創出事業	5,100	県単	新産業政策課
石垣支所	(9,869)		
シャコガイ生産事業	3,359	県単	水産課
ヤイトハタ生産事業	6,510	県単	水産課

[沿革]

大正 10 年 (1921)	4 月	沖縄県水産試験場設立, 事務所を県庁内に置く
昭和 2 年 (1927)	11 月	調査船初代「凶南丸」100トン竣工
3 年 (1928)	3 月	那覇市垣花町に庁舎新築
19 年 (1944)	12 月	空襲により焼失
23 年 (1948)	7 月	沖縄水産試験場として再出発, 事務所を沖縄民政府内に置く
25 年 (1950)	4 月	琉球水産研究所に改称
27 年 (1952)	3 月	佐敷町馬天に庁舎新築移転
32 年 (1957)	5 月	那覇市泊に庁舎新築移転
35 年 (1960)	5 月	調査船第2代「凶南丸」159トン竣工
41 年 (1966)	8 月	調査船初代「くろしお」21トン竣工
	10 月	石垣市に支場として八重山水産模範養殖場設置 (日政援助) 本場の研究室をこれまでの漁労・製造・増殖の3部門から資源調査が 加わり4研究室となる。さらに庶務課が設置される
45 年 (1970)	1 月	琉球水産研究所, 同八重山支所に改称
	10 月	琉球水産試験場, 同八重山支場に改称
47 年 ((1972)	4 月	復帰に伴い沖縄県水産試験場及び同八重山支場に改称 本場は1課4研究室体制から1課2室体制となる
49 年 (1974)	8 月	糸満市に本場庁舎新築移転 (国庫 1/2)
50 年 (1975)	1 月	調査船第3代「凶南丸」216トン竣工
55 年 (1980)	3 月	調査船第2代「くろしお」34トン竣工
58 年 (1983)	4 月	本部町に栽培漁業センター (支場) 開設
63 年 (1988)	4 月	同センターとして独立
平成 5 年 (1993)	9 月	八重山支場全面増改築開始
7 年 (1995)	3 月	調査船第4代「凶南丸」176トン竣工
8 年 (1996)	2 月	調査船「くろしお」34トン廃船
	3 月	八重山支場全面改築竣工
13 年 (2001)	4 月	水産業改良普及所と統合
17 年 (2005)	4 月	農林水産部より企画部に移り、水産業改良普及所と分離
18 年 (2006)	4 月	沖縄県水産海洋研究センター, 同石垣支所に改称 本所は企画管理班, 海洋資源・養殖班の2班体制となる

[施設]

		本所		支所	
敷地面積	(m ²)		19,551		23,622
本館	"	1 階建	1,045	1階建	248
飼育実験棟	"	3 棟	914	1棟	200
開放実験棟	"	1棟	233		
魚病実験棟	"	1棟	99		
研究棟	"			2 棟	402
屋外実験池	"	29 面	281	38 面	1,733
屋内実験池	"	10 面	222	35 面	1,142
展示等	"			1 階建	192

調査船 凶南丸 176トン・1,200HP 平成 7年(1995) 3月竣工

〔組織〕

沖縄県企画部……………科学技術振興課…………… 沖縄県水産海洋研究センター (39人)

所長 ……企画管理班長 ……庶務2人、農業技術補佐員1人 (本所28人)

……調査船図南丸13人

……海洋資源・養殖班長 研究員10人

……石垣支所長 庶務1人、研究員5人、農業技術補佐員2人、用務員1人 (支所9人)

〔職員〕

(平成20年4月1日現在)

	本所			石垣支所	計
	所長	企画管理班	海洋資源・養殖班		
行政職	1	2		1	4
研究職		1	11	5	17
海事職		13			13
現業職		1		2	3
用務員				1	1
計	1	17	11	9	38

平成21年度職員名簿

本所

所長	(技)	島田和彦	研究員	(技)	須藤裕介
			〃	〃	知名真知子
企画管理班			図南丸		
班長	(技)	山本隆司	船長	(技)	外間実
主査	(事)	真保栄恵子	機関長	〃	中村彰
〃	〃	金城まゆみ	通信長兼主任航海士	〃	新垣新三
農業技術補佐員	(現)	濱川薫	主任航海士	〃	上原英雄
海洋資源・養殖班			航海士	〃	西銘清
班長	(技)	海老沢明彦	主任機関士	〃	松川一志
研究主幹	〃	前田訓次	〃	〃	新崎悟
主任研究員	〃	玉城信	機関士	〃	大城勉
〃	〃	玉城英信	〃	〃	喜屋武豊
〃	〃	平手康一	主任	〃	豊見山彰彦
〃	〃	南洋一	〃	〃	吉田達美
研究員	〃	中村博幸	〃	〃	新垣昇
〃	〃	松尾和彦	〃	〃	浜川隆男
〃	〃	山田真之	〃	〃	桃原慧

石垣支所

支所長	渡辺利明	研究員	岸本和雄
主事	郡司昌和	農業技術補佐員	呉屋秀夫
主任研究員	木村基文	〃	仲本光男
〃	太田格	用務員	照屋洋美
研究員	井上顕		

平成20年度職員異動（転入・転出）

退 職 (旧所属)

西銘清 (図南丸主任航海士)

新垣昇 (図南丸主任)

再任用退職

浜川隆男 (図南丸主任)

転 出 (旧所属)

近藤忍 (主任研究員)

栽培センターへ

横田森夫 (図南丸通信長兼主任航海士)

漁業取締船「はやて」へ

柴田真琴 (図南丸主任)

漁業取締船「はやて」へ

転 入 (現所属)

前田訓次 (海洋資源・養殖班)

普及センターから

新垣新三 (図南丸通信長兼主任航海士)

漁業取締船「はやて」から

上原英雄 (図南丸主任航海士)

漁業取締船「はやて」から

再 任 用

西銘清 (図南丸航海士)

新垣昇 (図南丸主任)

浜川隆男 (図南丸主任) 再々任用